令和4年度千葉市緑化推進協議会

視 察 研 修 会 報 告

開催日時：令和4年11月23日(水)、10:00～14:00
研修場所：千葉市都市緑化植物園
参 加 者 ：8会員15名（男性5名、女性10名）　　参加費：1,000円／人
講　　師　：森林インストラクター 廣畠 眞知子 氏
内　　容　：園内ガイドツアー　、講演「植物園 昔々はどんな所？」、質疑および会員間交流

コロナ禍前はバスで関東圏内の植物園などに出かけ視察研修していましたが、本年も昨年に続き地元の千葉市都市緑化植物園にての研修会としました。
あいにくの雨となりましたので、先に廣畠講師の案内で園内ツアーをした後に研修室にて講演を行ないました。昼食後、深沢館長に都市緑化植物園のPRをしていただき、会員間の情報交換を行ないました。
また、「みどりの相談所」鈴木康博相談員に相談所の活動などについて紹介していだきました。

1．園内ガイドツアー

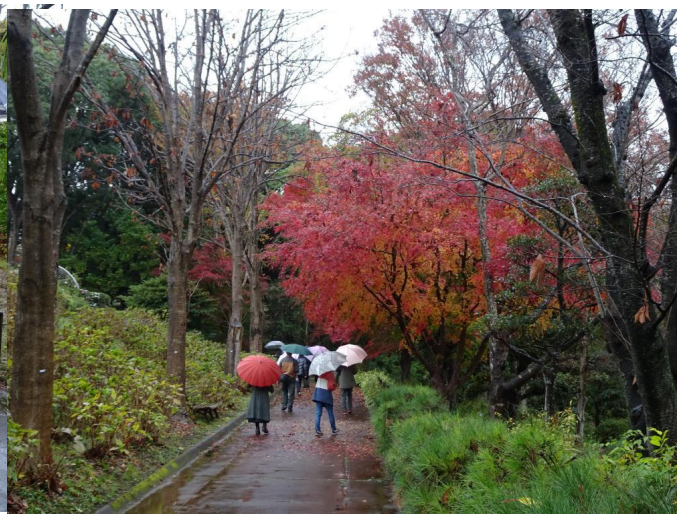
小雨の中、廣畠講師の案内による園内ツアー

← 高台にある大きなヤマザクラ
サクラは穀霊を迎える木とし、かつて近隣の水田を見下ろす高台で美しい花を咲かせていたようです。
（講演で2007年当時の写真紹介がありました）
今でも株元から若い枝を出し存在感があります。

ヘーゼルナッツの仲間「ハシバミ」　→
講演会では、廣畠講師がヘーゼルナッツで手作りされたクッキーを参加者の皆さんへプレゼントされました。

メタセコイア

春には白い苞がハンカチのように見えます



配付資料

1.植物園　昔々はどんな所？
2.令和4年度視察研修会のご案内
3.会員だより No.22001 磯辺東住宅
4.樹木診断報告 磯辺西住宅
5.樹木診断報告 稲毛海岸3丁目
6.LHN自治会2022年9月10月発行資料

2. 講演　植物園　昔々はどんな所？

1. 房総半島に氷河期があったのをごぞんじでしょうか。
2. 川の流れる低地には人が住み始めました。
3. 松林 → 雑木林 → そして･･･
4. 水田耕作とサクラ

以上が資料の項目ですが、植物園周辺の変遷や地名の由来、植物園内の主な植物や松枯れナラ枯れなどの説明がありました。
（ヤマザクラ、ハシバミ、ハンカチノキ、ムクロジ、カエデとモミジとフウ）、（松枯れ、ナラ枯れ）、その他

3. 会員間情報交換

参加された8会員の代表の方に活動紹介などしていただきました。
樹木診断会等の実績がある場合は、事務局が写真等をプロジェクターで表示し情報共有しました。

磯辺東住宅管理組合　2022年10月発行会員だより　2021年11月樹木診断会
磯辺63自治会　2022年10月樹木診断会、　千葉中央フラワーマンション2019年樹木診断会
稲毛海岸三丁目団地　2020年12月会員間訪問ツアー　2020年05月樹木診断会
海浜コートビレジ 2019年09月樹木診断会　レジデンシャルコート稲毛 2022年11月樹木診断会
レーベンハイム西千葉 2021年07月の会員間訪問ツアー

4. その他

園内の「みどりの相談所」は市民からのみどりに関する相談を休園日以外は毎日受け付けています。
会員の皆さまにも、もっと有効活用していただけるよう鈴木康博相談員に活動内容を紹介していただき顔合わせをしていただきました。

問合先：千葉市緑化推進協議会事務局（みつとみ）
TEL.090-6517-8555　Email:c.ryokkasuisin@gmail.com